

令和7年度第2回学校運営協議会 会議録

期日：令和7年12月17日（水） 14：00～15：30

場所：本校会議室1

出席者：委員9名、学校職員8名 計17名

1 開会【副校長】

2 挨拶

(1) 会長

午前中の研究発表会は、高校生の視点からの取り組み発表が素晴らしかった。
特に子どもへの支援に高校生が早くから取り組んでいるのがとてもよかった。

(2) 校長

午前中の研究発表会のご出席、ありがとうございました。生徒には一生勉強は続くのだということを学んで欲しいと思っています。
今日の会議は中間反省となります。今後の高校をどうしていくか、地道な作業が必要です。本日話し合ったことを、生徒の指導に活かしていきたいと思っております。

3 学校概況について 【副校長】

(1) 学習・生活等について

本校は5つの系列があり、それぞれの特徴を活かして活動している。素直で優しい生徒が多い。挨拶はほとんどの生徒ができています。6月にクラスマッチ、8月に文化祭、12月に修学旅行を予定通り実施した。11月末、1学年がインフルエンザで3日間学年閉鎖を行った。2学年は学年閉鎖が無かったが、修学旅行中に発熱した生徒が多数いた。

(2) 進路について

令和6年度卒業生は、進学希望者81%、就職希望者18%。現3年生は、進学は総合型選抜と学校推薦選抜の推薦入試から一般入試への切り替わりの時期。大学共通テストは100名超の生徒が受験する予定。就職は、民間就職希望者の内定率100%、公務員希望者も合格者100%である。

(3) 部活動について

資料のとおり、様々な成果を上げている。

(4) 交通安全について

自転車通学者46%。現在はヘルメット着用努力義務として、通学許可の要件とはしていない。自動車との接触や、転倒という事故は毎年発生している。市内の近隣高校と足並みをそろえ、保護者の理解・協力を得て、取り組んでいく。来年4月からヘルメット着用を通学強化の要件とし、生徒の安全確保に努めたい。12月の交通安全講習において、一関警察署長から令和8年4月からの自転車の交通ルールの改正につ

いて指導していただいた。

(5) 熊対策について

学校近辺で熊の目撃情報が数件あった。農場には既に電気柵を設けてある。情報は、生徒、保護者にはeメッセージで発信している。冬休み中についても熊出没時の対応を指示する。また、校内危機管理マニュアルに、熊対策について追加記載を進めている。

(6) その他

- ・7つの分掌があるが、見直しをするのかというという質問が事前に寄せられている。今のところはそのような話は出ていない。教育相談や情報ネットワークについて独立化している学校もある。また、「指導」から「支援」に切り替え、「〇〇指導課」から「〇〇支援課」と名称を変えている学校もある。
- ・令和9年度に120周年を迎える。来年2月に実行委員会を立ち上げる。

【校長補足】

熊対策については、自動ドアを止めている。分掌は例えば農場課など、増やしたいという気持ちもあるが、人が足りないのでなかなか取り組めない。

4 各分掌の取組状況等について

(1) 総務課

- ・授業始め式、授業納め式等は夏の暑い時期、冬の寒い時期には各教室に式を配信し、実施する。
- ・PTA会計は年間予算1,000万円規模である。
- ・120周年の行事については来年2/20(金)に実行委員会を実施する予定である。

(2) 教務課

- ・学校へ行こう週間の参加を保護者限定の検討は、生徒の安全確保のためである。他に文化祭やクラスマッチ時に生徒の様子を見ていただく機会がある。
- ・教務課で総合学科について兼務している状況であるが、スムーズに運営できている。

(3) 進路課

- ・民間就職は希望した生徒12名全員内定した。例年は民間就職が20名位なので、今年は希望者が少ない。
- ・公務員は7名合格。県職、市職など。1名は保留中で、6名が進路を決定した。
- ・進学希望者は169名。国公立は総合型で4/7名合格。学校推薦型で9/24名合格。私立は総合型で9/15名合格。学校推薦型で30/39名合格。不合格者は一般入試に回る。
- ・生徒・保護者の傾向としては、年内の推薦入試を重視するようになってきている。全職員で、小論文、面接等の指導を行っている。
- ・志望理由書作成や小論文指導については、全職員に研修を行っている。
- ・進路対策会議は7月の三者面談後に速やかに行ったので、昨年度よりは早く対応

できた。

- ・「総合探究」については、一生懸命調べている生徒が多いが、大学では実際にそれをどのように実施しているかが問われている傾向があるので、実践する時間を増やしていきたい。

(4) 生徒課

- ・自転車通学では、ヘルメット着用率が低かったが、来年度4月からは着用を通学許可要件とし、生徒の安全のため、着用を呼び掛けていく。
- ・SNS 使用については注意を喚起していく。
- ・ボランティア活動は JRC 部を中心に一部の生徒が取り組んでいる現状なので、より多くの生徒に取り組ませたい。
- ・部活動指導については部活動指導研修会に全職員で取り組んでいる。
- ・教職員で情報の共有を行い、生徒の指導をしていく。

(5) 事務室

- ・県から学校に配分される予算は、ごみ処理や光熱費等に使用される。
そもそも岩手県では、基金を取り崩して使っている現状である。

(6) DX 事業

- ・継続採択されたため、新たにコンピュータールーム内の機器の充実を図った。
- ・2年間で最大1,500万円の予算を得たので、パソコン、移動型電子黒板、3Dプリンター、ドローン等を購入した。
- ・来年2月に1年生の希望者20～30名程度を、仙台の専門学校に派遣し、プログラミング学習の機会を与える予定である。

5 質疑応答及び意見交換

【委員A】

- ・先生方には、激務の中、生徒のために頑張ってください感謝している。働き方改革も考えて健康に注意してください。
- ・ヘルメットは、生徒の安全のため、かぶらせて欲しい。PTAとしても協力したい。

【委員B】

- ・大学時代、農村ツアーに参加し、体験した中から就職した。そのような体験型の募集に取り組んではどうか。動画を作成する際は、ガイドラインを作って顔出し等に配慮しては。

【委員C】

- ・教育を食い物にする会社がある。そのような会社が総合探究のためのビデオを作って、自治体に売り込んでいる。元々お金がないのに、金もうけをされている。
- ・先生たちが光熱費などに困っていることや、子どもたちの声を実際に政治家に言うようなことができればいいなと思っている。

【委員D】

- ・DX事業について知ることができた。

【委員E】

- ・総合学科は素晴らしい学習システムである。特にも総合学習は素晴らしい。
- ・分掌については今の枠を取り払って新しい組織作りをしてはどうか。例えば、今はキャリア教育が求められている。

【委員F】

- ・先生方一人ひとりの負担が増えているのではないか。体に気をつけて欲しい。
- ・SNSはマスコミの在り方にも問題がある。間違った情報を取り入れないように、生徒一人ひとりに指導して欲しい。

【委員G】

- ・子どもの進路指導については、家庭でもフォローしたいが、先生方との会話の中で整理されているようだ。今後ともよろしくお願いしたい。
- ・SNSの使い方、情報の利用・精査について、気を付けるよう、指導願いたい。
- ・AIが作った画像と実際の画像の見分けが難しい。自分の目で見える力をつけさせたい。

6 連絡 【副校長】

- ・第3回は令和8年2月19日（木）14:00～を予定している。
内容は、校長からの学校運営についての報告や、各分掌からの報告、学校評価アンケートの結果説明などである。

7 閉会 【副校長】